

■オーストラリア：NSW州のAGL、ガス価格20%値上げを申請

現地メディアは2014年2月18日、ニューサウスウェールズ（NSW）州のガス小売り最大手AGLが同州の独立価格規制裁定委員会（IPART）に20.3%の値上げを申請したことを報じた。承認された場合、同州の一般世帯のガス料金は2014年度に年間平均132豪ドル（1万2,200円）上昇し、2015年度には同100豪ドル（9,200円）上昇する見通し。一般世帯のガス料金値上げ幅が最大となるのは同州の州都であるシドニーで、年間平均240豪ドル上昇し、2015年度の一般世帯の年間ガス料金は1,080豪ドル（9万9,400円）になる見込み。次いで大きな値上げ幅となるのは首都圏特別区（ACT）との州境とショールヘイブン地域で、年間平均239豪ドル（2万2,000円）上昇し、2015年度の一般世帯の年間ガス料金は1,522豪ドル（14万円）に達する見込み。また、ショールヘイブン地域の法人需要家の場合、年間平均869豪ドル（8万円）上昇し2015年度の年間ガス料金は5,534豪ドル（51万円）となる見込み。ロバーツ資源・エネルギー相によると、料金上昇の主な原因はガスの卸売価格の上昇にあるとしている。NSW州内で生産されるガスは同州の需要の5%を占めるとされている。